

 つや姫  雪若丸		令和7年7月2日発行 やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 西村山農業技術普及課 (TEL 0237-86-8301)
---	--	--

適期に適量の穂肥で食味重視の米づくりを行いましょう！

- 中干しの効果を高めるために、作溝も合わせて行いましょう。
- 既に葉色の低下し始めている圃場が見られます。生育診断を確実にし、穂肥を実施しましょう。

作柄診断圃の生育状況（6/30、普及課調べ）

 「つや姫」の生育調査圃（寒河江市高屋）

調査項目	本年	平年	平年比・差
草丈 (cm)	58.5	48.5	121 (長い)
茎数 (本/m ²)	578	624	93 (少ない)
葉数 (枚)	9.8	9.7	+0.1 (並み)
葉色 (SPAD)	41.0	40.7	+0.3 (並み)

 「雪若丸」の生育調査圃（寒河江市寒河江）

調査項目	本年	平年	平年比・差
草丈 (cm)	47.3	39.3	120 (長い)
茎数 (本/m ²)	696	670	104 (やや多い)
葉数 (枚)	10.1	9.7	+0.4 (やや多い)
葉色 (SPAD)	45.7	43.5	+2.2 (濃い)

「つや姫」「雪若丸」の出穂期予想（7/1、普及課調べ）

地域・品種	移植日	出穂期 (予想)	出穂 30日前	出穂 25日前
平坦部	雪若丸	5月22日	8月4日	7月10日 1.0~1.5kg
	つや姫	5月16日	8月6日	7月7日 1.0~1.5kg
中山間部	つや姫	5月20日	8月9日	7月10日 1.0~1.5kg

※「スマートつや姫」作業適期カレンダーによる予測値を使用。移植日+移植時の葉齢から出穂期及び穂肥適期を診断。

「つや姫」

「つや姫」出穂期は8月5~7日頃と見込まれます。

- 7月上旬（10葉期）に生育診断を行い、遅くとも出穂25日前までに品質・食味を優先した穂肥を行いましょう。

7月上旬の生育診断と対応技術

生育量	茎数 (坪70株)	葉色 (SPAD)	追肥時期	追肥量
適正	28本/株以下	かつ 39以下	30日前	~1.5kg/10a
やや過剰	28~31本/株	または 39~41	30日前	~1.0kg/10a
生育過剰	31本/株以上	または 41以上	25日前	減肥*

※ 葉色が低下しない場合、追肥を行わない。

農薬の危害防止に注意を!!

- ◎ 農薬は使用基準（適用作物、使用量、使用回数、使用時期等）を守って正しく散布する
- ◎ 周辺への飛散がないよう強風時は避け、風向や散布量、散布方向等に留意する



「雪若丸」

「雪若丸」出穂期は、8月1～3日頃と見込まれます。

○穂肥は、出穂25日前（7月10日）までに窒素成分で1.5kg/10aを基本とします。

○追肥時期が遅れたり、量が多いと品質が低下し、玄米タンパク質含有率が高まります。

○6月中に窒素肥料を補完施用した場合は、補完施肥量に応じた減肥を行います。

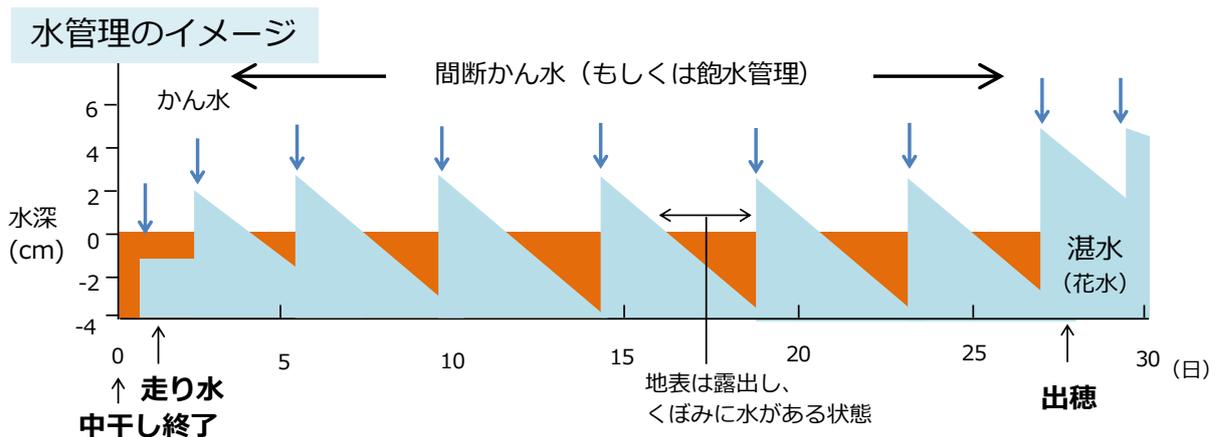
7月10日の生育診断と対応技術

生育量	莖数（坪70株）	葉色（SPAD）	追肥時期	追肥量
適正	26～35本/株	40～44	25日前	～1.5kg/10a
生育不足	26本/株以下	40未満	30日前	～1.5kg/10a
生育過剰	35本/株以上	44以上	25日前	減肥

<中干し後の水管理>

○中干し終了直後は飽水管理とし、その後は、間断かん水に移行します。

間断かん水により「うわ根」の伸長を促すことで穂肥の窒素利用効率が高まります。



<斑点米カメムシ類>

○イネ科雑草が繁茂している畦畔、農道周辺では、斑点米カメムシ類の発生が多いので、地域ぐるみで草刈を徹底し、できるだけ生息密度を下げましょう。

○圃場内のヒエ類やホタルイも斑点米カメムシを誘引します。残草処理を徹底しましょう！

<いもち病>

○本田の見回りを徹底し、早期発見に努めましょう。

発生が確認された場合は、速やかに治療効果のある薬剤を散布しましょう！

農作業事故と熱中症に十分注意しましょう！
休憩と、こまめな水分補給を心がけ、無理のない作業を！